三中だより 第８号

令和６年 11 月 12 日（火）

「自主性を養う」
～自らより高い価値を創造しようとする力をつける～

三中 HP もご覧ください！

〒386-0011　上田市中央北 3-3-62　電話：22-1622　第三中学校長：城田　真裕
E-mail:ueda3@sk.ueda.ed.jp　Fax：22-1799　作成者：長尾　恭照

参観日　ご来校ありがとうございました!!

PTA 講演会　関良基先生『私の三中時代と赤松小三郎研究』

10 月 25 日（金）の第 3 回学校開放にご来校くださいました皆様、ありがとうございました。お子さんの様子はいかがでしたでしょうか。授業を参観されての感想や、お子さんの様子についてお気づきの点などございましたら、ぜひお知らせください。

PTA 講演会では、拓殖大学教授の関良基先生（三中卒業生）にお話しいただきました。関先生は、上田藩出身で幕末の洋学者である赤松小三郎の研究をしておられ、本も出版されています。関先生は中学時代、太郎山の山城をフィールドワークしながら独自に調べ、夏休みの自由研究で中2、中3と二年連続で金賞を受賞したことをお話しくださいました。そして、身近なものやことがらに疑問を持ち、積極的に関わっていくことの大切さを教えてくださいました。

赤松小三郎とは、どんな人物？

幕末の上田藩出身の洋学者。勝海舟を師とし、長崎の海軍伝習所で学び、新時代の政権を構想するという、坂本龍馬と似た人生を送る。イギリスの兵学書「英国歩兵錬法」を翻訳するとともに、松平春嶽や島津久光に送った「建白七策」で四民平等や二院制の議会政治を提唱した。幕府と新政府による内戦を最後まで止めようとするも、薩摩藩士によって暗殺された。

生徒の感想を紹介します。

今日の5・6時間目に、講演会がありました。
お話を聞いて、私は「日頃から小さな疑問でも持ち続けて生活しよう」と思いました。

今日は、赤松小三郎について、関先生からお話を聞きました。
この講演会があるまで、「赤松小三郎」について全く知りませんでしたが、講演会後は、なんとなく何をした人、どう日本に貢献した人なのかなど、詳しく知れました。赤松小三郎をもっと伝えられる場を増やしたら、たくさんの人が興味を持ってくれると思いました。

中国山東省より　英語教師視察団が三中を訪問!!

10月17日（木）に、中国山東省から視察団が来校されました。英語の先生方です。

まず、開会セレモニーで３年生の滝沢君が流ちょうな中国語でご挨拶！歓声が上がりました。その後、3学年の英語の授業を見学され、2学年の総合学習で生徒と交流しました。

3年生の生き生きとした姿に、視察された先生方も終始笑顔でした。また、生徒たちは習った単語や文法を駆使し、タブレット端末を使って準備したスライドを使いながら、一生懸命交流していました。緊張しながらも、最後は笑顔で交流する姿が見られました。

2年生は最後に素敵な歌声をプレゼント！先生方は感激され、「これからも頑張って！」と日本語でメッセージを送ってくださいました。

生徒にとって貴重な経験になったのではないかと思います。ぜひ、世界に目を向け、学んだ英語を使って世界中の人々と関わっていってほしいと思います。生徒の皆さん、これからも英語をたくさん学んでくださいね!!

人権教育月間　人権について学びを深めました

【1学年】
「権利の熱気球」「ちがいのちがい」の学習を通して、大切にすべき権利や、違いを認めることの大切さについて学びました。

【2学年】
車いす体験や高齢者疑似体験、ボッチャの体験などを通して、相手を理解すること、共に生きることの大切さを学びました。

【3学年】
「ドキュメンタリー結婚」から、部落差別について理解を深め、自分がこれから生きていくときに何を大切にすべきかを学びました。